



熊本市 感染症発生動向調査 速報

●インフルエンザが警報レベルを超えました!!●

熊本市の定点医療機関あたりの報告数が、30.24(定点数25ヶ所、患者報告数756人)となり、国が警報レベルの基準値としている30を超えました。インフルエンザは、以下のような点で普通の風邪とは異なります。引続き感染予防に努めましょう。

【インフルエンザと風邪との違い】

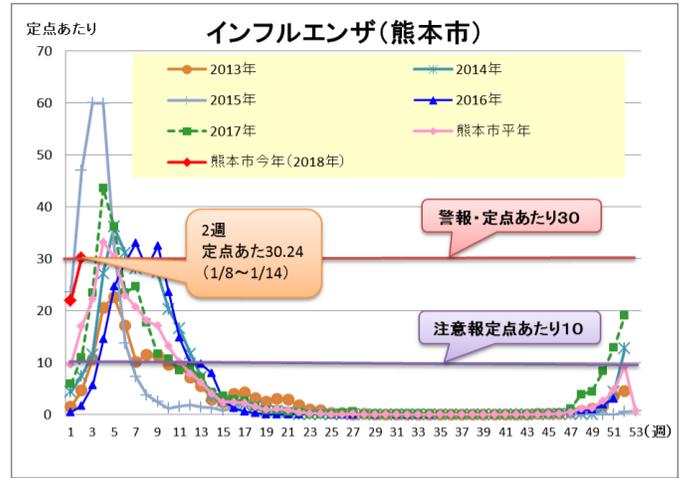
	インフルエンザ	風邪
一般的な症状	38度以上の発熱 ※インフルエンザであっても、熱が出ない人もいます	発熱
	全身症状(頭痛、関節痛、筋肉痛など)	局所症状(のどの痛み、鼻水、くしゃみ、咳、など)
	局所症状(のどの痛み、鼻水、くしゃみ、咳、など)	
	急激に発症	比較的ゆっくり発症

ただし、全く症状のない(不顕性感染)例や、感冒様症状のみでインフルエンザウイルスに感染していることを本人も周囲も気が付かない軽症の例も少なくありません。

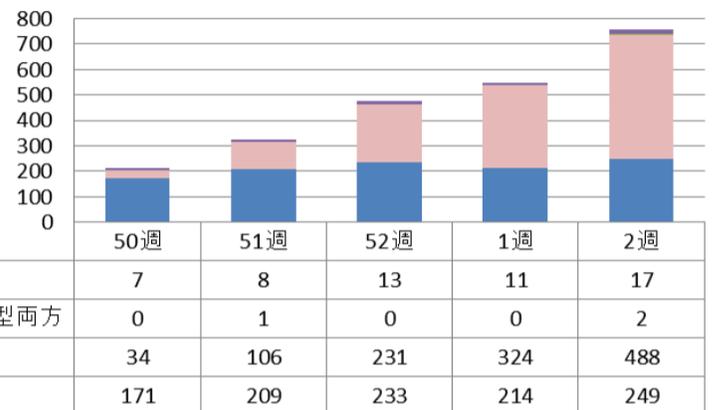
◆こんな症状があったらすぐに医療機関を受診してください

多くの方は1週間程度で回復しますが、中には肺炎や脳症等の重い合併症が現れ、重症化してしまったり、死に至ることもあります。こんな症状があったらすぐに病院を受診しましょう。

- けいれんしたり呼びかけにこたえない ● 呼吸が速い、または息切れがある ● 呼吸困難、苦しそう
- 顔色が悪い(青白) ● おう吐や下痢が続いている
- 症状が長引いて悪化してきた ● 胸の痛みが続いている



熊本市インフルエンザ型内訳



[政府広報オンライン 暮らしに役立つ情報平成29年11月20日より引用]

期 間		平成30年 1週		平成30年 2週	
		1/1~1/7		1/8~1/14(最新)	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
(百日咳は平成30年1月1日より全数報告へ変更になりました)					
インフルエンザ	警報レベル	549	21.96	756	30.24
RSウイルス感染症		1	0.06	2	0.13
咽頭結膜熱(プール熱)		3	0.19	9	0.56
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		9	0.56	16	1.00
感染性胃腸炎		34	2.13	86	5.38
水痘(みずぼうそう)		9	0.56	8	0.50
手足口病		9	0.56	1	0.06
伝染性紅斑(りんご病)		1	0.06	0	0.00
突発性発しん		5	0.31	4	0.25
ヘルパンギーナ		0	0.00	0	0.00
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)		1	0.06	0	0.00
急性出血性結膜炎		0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)		8	1.60	11	2.20
細菌性髄膜炎		1	0.20	0	0.00
無菌性髄膜炎		0	0.00	3	0.60
マイコプラズマ肺炎		0	0.00	0	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)		0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)		0	0.00	0	0.00